



7月度の御書

ときあまごぜんごへんじ 「富木尼御前御返事」

か。
げく必要があるだろう
ないと思えば、何をな
とは絶対に間ちがい
私たちが仏になるこ
わたしは

意味

のなげきか有るべき
しとをぼせば・なに
我れ等は仏に疑いな
御文

(御書976ページ)

みんなの心の中に必ず「獅子王の心」がある

やあ、みんな！ ぼくはライオン博士のキング君。
もうすぐ夏休みだね。1学期も最後までがんばってこう！
今回学ぶのは、日蓮大聖人が弟子の富木尼に送られた
御文だよ。
富木尼は家族を支えながら、一生けんめいに信心には
げんでいた女性だよ。でも実は長い間、病気とたたかって
いたんだ。
大聖人は、そんななやみをかかえていた富木尼を温かい
心で包み込み、「信心にはげむ私たちは、必ず仏になるの
です。だから、悲しむ必要などないのです」と教えられて
いるんだよ。



「仏になる」というのは、自分とはちがう「特別な人、
になることではないんだ。
どんな人の中にも「獅子王の心」といって、勇気も、
知恵も、希望も、思いやりも無限にわき出している最高
の生命がある。その生命力を思う存分に発揮して、一番自
分らしくかがやいていくことなんだよ。

そして「南無妙法蓮華経」のお題目を唱えていけば、だ
れもが自分の中の「獅子王の心」を、力強くかがやかせて

いくことができるんだ。

「獅子王の心」がかがやくと、「なやみ」は、自分の
「成長の力」や、同じなやみを持つ人をはげます「使命」
へと変わっていくよ。

大変なことや、つらいことがあっても、その中から最高の
「幸福の花」「使命の花」をさかせていけるのが信心なんだ！
その「獅子王の心」をキラキラとかがやかせることがで
きるのは、他のだれでもない自分自身だよ。

だからこそ大切なのは、「何があっても必ず乗り越えられ
る！」という自分の無限の可能性を信じ、希望を持って祈り、
努力していくこと。

もしも自分で希望を持ってない時は、創価家族のみなさん
に話して、「希望パワー」を分けてもらったっていいんだよ。
池田先生は語られているよ。

「どんな時も希望をもって挑戦する人が、偉い人です。
何があっても挑戦を続ける人が、最後に必ず勝利する人
です。夢をもち続け、へこたれないで努力するかがり、苦し
いことも悲しいことも全部、自分の成長の力に変えられま
す」

さあ、希望を胸に、ししの子らしく夢に向かって進んで
いこう！